

令和5年度 第2回 藤沢市市民活動推進委員会 議事録

1 日時

2023年（令和5年）5月23日（火）午後6時～午後6時59分

2 場所

ウェブ開催

3 出席者

(1) 委員 10人

山岡委員長、坂井副委員長、関野委員、豊福委員、新實委員、西上委員、西村委員、樋口委員、細沼委員、森田委員

(2) 事務局 5人

日原参事、森主幹、緒方専任主査、川島主任、黒川職員

4 議題

(1) 令和4年度藤沢市市民活動支援施設の事業報告について

(2) 令和4年度ミライカナエル活動サポート事業の報告について

(3) 令和5年度ミライカナエル活動サポート事業について

(4) その他

5 開催概要

開会

(山岡委員長) それでは、ただいまから令和5年度第2回藤沢市市民活動推進委員会を開会いたします。まず初めに、委員会の成立状況、傍聴者の状況などについて、事務局よりお願いいたします。

○事務局より、委員会成立の報告などが行われた。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題（１）令和４年度藤沢市市民活動支援施設の事業報告について

○藤沢市市民活動推進センターのセンター長である関野委員より、令和４年度藤沢市市民活動支援施設の事業報告について説明が行われた。

(山岡委員長) 毎年非常に丁寧な報告書をつくっていただいて、こういう統計データなんかもきっちりとして全部見ていくと、いろいろ気がつくこととか興味深いことがあると思います。限られた時間ですが、今のご説明について、もしお気づきのことやご意見とかあれば、いかがでしょうか。

(坂井副委員長) ５年間のうち３年あまりがコロナということで、いろいろご苦勞されたのかなと感じました。今、委員長もおっしゃられたように、中身が非常に丁寧に書かれているので、詳細な報告書でいいんじゃないのというふうに思っています。

総括の部分で、細かい話なんですけれども、(1)「はじめに」の真ん中辺に「分館のプラザでは」という出だしがあります。その次に、「今年度で３回目となった」というくだりがあるんですけれども、この報告書の発行時期が５月ですよ。今年度」というのが何となく曖昧な感じがするので、「2022年度」とはっきり言っちゃったほうが誤解がないかなと感じました。

それと、(2)の１段落目の３行目、「市民活動団体同士の連携・協働においては課題や不足している資源も偏りがちであるため」となっているんですが、ここはどういうことをおっしゃられているのか、ちょっと伺いたいと思いました。読んだ印象として、団体によって何となく資源が偏っているというのはわかるような気がしたんです。課題というのはどこかにつながっているのかなというのがちょっとわからなかったので、言わんとする意味合いを教えていただければと思います。

(関野委員) まず、最初の点については修正させていただきます。

２点目、(2)に関してですが、まず資源に関しては大体予想がつくと思うんですけれども、どうしても団体さんのほうで人とお金が、特にコロナの中で今までよりも不足しているところが散見されているかなということです。法人のほうでも緊急助成等やりましたけれども、団体さんは動けないと収益がないというところは、コロナ禍の３年間の中でございまして、計画書のほうでご指摘のあった、高齢化含めて、人集めを常にやっているような団体さんは結構いらっしゃる状況かなということです。

結局、課題もそこにかかわってくるものがあるかなというところでこういった記述にしているので、団体の活動収益にどうつなげるかといった部分とか、あとボランティア

さん集め含めて、メンバー集めというのは常に課題化しているので、課題と資源というところは正直、重複しているといえば重複しているんです。なので、記述の仕方はどうしようかなと迷った部分も実はありまして、ご指摘を受けてどうしようというところになります。

(坂井副委員長) 資源が偏るというのは、何となくわかるんです。その課題は、この文章ではどこにつながっているのかなと思ったんです。課題が偏るということじゃないんだろうなと思ったので、何か受ける言葉が必要なのかなと思いました。

(関野委員) ここもちょっとわかりやすいようにしたほうがいいということで。

(坂井副委員長) ええ。

(関野委員) はい、承知いたしました。

(森田委員) 詳細な報告書、恥ずかしながら初めて読ませていただきまして、とてもわかりやすかったです。本当に幅広い活動を施設でもやられているんだなというのを改めて理解させていただきました。

私も一市民として読んだときの感想ですけれども、これは5年間の最終年としての活動報告をまとめられるという理解でよろしいんですね。

(関野委員) 年次報告書となりますので、最終年、1年分のというニュアンスになりがちです。毎回といいますか、5年目はどうしてもそうなくなってしまいますので、どちらかという、「はじめに」の部分にある程度「5年間の」という記述を入れたという状況になっています。

(森田委員) わかりました。

5ページ目の「全体総括」の「◆今後に向けて」の出だしは、「2022年度は5事業年度のうちの最終年となります」で始めていると、これは何年度だったのかな、2022年度の話がこれからいくのかなというふうにちょっと読めてしまいました。

ここでおっしゃりたいのは、最終年度だったので、次年度、新たな5年度は、同じく推進機構のほうでとれることになったことをご報告されたいわけですよね。とすると、例えば「2022年度は5事業年度のうちの最終年度でありました」で終わった形にさせていただいたほうが誤解がないかなと思ったのが1つです。

飛びますけれども、23ページ目、相談件数の推移をグラフで掲載いただいているかと思うんですけれども、これを拝見したときに、直近の協働コーディネーターの相談件数なのかなと思ってしまったんです。

しっかり読めば、上のほうに「以下グラフの通り」と「NPO活動専門相談員およびセンター・プラザ職員による相談の実施」と書かれているのでわかるんですけども、この順番は、「以下グラフの通り」の後に2. を入れていただいたほうが誤解がないかもしれない。もしスペースの問題があるようでしたら、この項目のグラフの名前のところに、「NPO活動専門相談員およびセンター・プラザ職員による実施の相談内容」と書いていただいたほうが誤解がないかなと思ったところが2点目です。

それから、38 ページ以降の細かい事業報告のところ、回数が2回あるところの参加数を合計されて書いていると思うんですけども、できれば分けていただいたほうがいいのかというところでした。

詳しく表も書いていただいているので読めばわかるんですけども、例えばこの事業報告をごらんになって、これからさまざまなサポート事業の団体さんが事業報告をつくられるとなると、私どもが評価の目を見た際に、この間に何人ぐらい来たんだろうかというところは結構気にかかります。

そういった書き方の1つの指南みたいなことで、ちょっと細かめに申し上げさせていただくと、1回目でどのくらい、2回目でどのくらいで、この定員は1回ごとなのかというのがわかったほうが、充足率とかがわかりやすいかなと思いました。

素人目で、一般的な意見なんですけれども、以上、ちょっと気になったところだけ申し上げさせていただきました。

(関野委員) もっと見やすくということだと思いますので、ご指摘のところを直させていただきます。

(坂井副委員長) 度々で申しわけありません。26 ページの「ホームページの作成・管理」のところ、一番下から2行目に、「次年度以降はSNSの活用」とあります。この「次年度」もちょっと曖昧なので、「2023年度以降」と書くか、ぼやっと書くんだったら「今後は」ぐらいにしておいたほうが良いと思いました。

もう一点、これは伺いたいんですが、次の27ページ、最後の3行のところ、「延べ登録団体数は」と書き出しています。2行目に「有効登録団体数は」とあります。この「延べ登録団体」と「有効登録団体」はどういう意味なのか、教えていただければと思います。

(関野委員) まず、1点目は修正させていただきます。

延べ登録団体数というのは、施設が開館してから今までに合計何団体が一度は登録し

たかという数になります。ここに「更新手続きをお願いしており」と書いてあるんですが、更新をしなければ一時抹消といいまして、抹消になるという手続になっておりますので、ちゃんと更新して続けている団体の数が、今現在、有効登録団体数として399団体という形になります。これもわかりにくい記述になってしまっているということですよ。

(坂井副委員長) つまり、延べ登録団体数の中には、かつては登録していたけれども、今はもう登録していないものも含まれているということでしょうか。

(関野委員) はい、そうですね。

(坂井副委員長) 私だけがそう思ったのかもしれないんですけども、ちょっとどういう意味なんだろうと思ったので。例えば、平たく言えば、最初のほうは登録したことのあつた団体という意味合いですよ。後半は、現在登録している団体はこれだけだということですよ。

(関野委員) そうなります。

(坂井副委員長) もし表現上で何か工夫できるなら、一言書いてもらうとわかりやすいのかなと思いました。

(関野委員) わかりました。

(山岡委員長) ほか、いかがですか。——よろしいですかね。

そうしましたら、幾つかご指摘のところがりましたので、修正したものが最終版という形で後ほど公表されるということですよ。

(関野委員) はい。

(山岡委員長) よろしくお願ひいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題(2) 令和4年度ミライカナエル活動サポート事業の報告について

○事務局より、令和4年度ミライカナエル活動サポート事業の報告について、説明が行われた。

(山岡委員長) こちらは事業の年度の報告で、報告会はないのでこの報告をもって確認するということですよ。ちょっとボリュームも多いので、本当は全部しっかり見なきゃいけないところだとは思いますが、限られた時間ですので、もし今この時点で

お気づきのこととかがあれば、ぜひおっしゃってください。

今、西上委員からチャットに出ていますけれども、もしよろしければご発言いただけますでしょうか。

(西上委員) ちょっとタイミングを逃してしまって、さっきの報告書をもっと市民の方に見てもらうための参考の事例をチャットに貼りました。どれぐらいのどんな団体が何の活動をしているかということが、読み込まなくても、ぱっと見てわかるみたいにデザインされています。立川市の公共施設なので、よかったら参考にしてほしいなと思ってお送りしました。

(関野委員) ありがとうございます。ちょっと事業年度の切りかわりというのがありましたので、様式に関しては 2022 年度まではそろえようかなというところで、次年度以降をちょっと変えようかなというところも検討しておりましたので、参考にさせていただきます。

(西上委員) よろしくをお願いします。

(山岡委員長) 今見ましたけれども、確かに見やすいし、とっつきやすいし、開いてみよかなという感じの報告書ですね。

(西上委員) 最後に、活動の広がりが入っているんです。市の団体とのつながりができたとか市外との団体のつながりができたとか、関係人口とか考える上でもどういうふうにつながっているか。毎年、立川市のホームページに何年分も載っているんですけども、その広がりが、最初のころと比べてもらうとすごい違うとわかるので、こんなふうワードでできる範囲で構わないと思いますが。

(山岡委員長) 多分こういうデザインなんかも、きっと専門家が入ってつくっているのだろうという感じがしますよね。でも、そういうこともすごく重要なことだと思いますので、もちろん指定管理で予算の中でということはあると思うんですけども、可能な範囲で工夫いただければと思います。お願いばかりで恐縮です。

今のは議題（1）の話ですが、議題（2）のところではいかがでしょうか。

(細沼委員) 事業報告を全部見させていただいて、NPO 法人とことこさんなんですけれども、令和 5 年度も申請がなされているということで、ほかの団体と比べて、事業収入ですとか参加費が、明らかにほぼ無いに近いというか、助成金ありきの活動に見える感じがしました。令和 5 年度の申請の内容にもよりますけれども、少しそのあたりを委員の方に見ていただけるとよろしいのではないかなと思いました。

(山岡委員長) 収入のところですかね。

(細沼委員) ほかのスタートコースさんもそうなんですけれども、事業収入であったり、参加費であったり、売り上げであったりというところで、2年後、3年後をある程度見越して活動されているようにお見受けするんですが、とことこさんが令和4年度は全部経費というか、物品購入費が中心、消耗品などに充てていらっしゃっているので、令和5年度はどうされるのかなというところが1つ気になりました。

(山岡委員長) 本当だったら報告をいただいて、直接団体の方にお聞きできるといいんですけども、とことこさんについては次また申請もあるので、そこでぜひ確認できればと思います。活動自体はすごく広がっている感じはあるので、その活動を支える資金的な部分をどう考えているのかということも非常に重要なことだと思います。

なかなかこの場で、これを全部見て一つ一つ確認するのは時間的にも難しいと思うのですが、事務局に確認ですが、これは少しお時間をいただいてちゃんと見てもらったほうがいいかなと思うんですけども、どうでしょうか。

(事務局) 見ていただいて、1週間をめぐりご連絡いただければと思います。ただ、1週間を過ぎてしまったとしても、随時団体のほうには送らせていただきますので、事務局宛てにご意見をお願いいたします。

(山岡委員長) ちょっと宿題っぽい感じになりますけれども、ぜひ皆さんお目通しいたいて、これでいいということであればそれでもいいと思いますし、もしお気づきのことがあれば事務局に提出してください。要するに報告がこれしかないのので、我々の立場としては、審査を経て事業を実施していただいていますので、きちんと確認する責任があると思います。ぜひよろしく願いいたします。

お気づきのことがあれば、今この場でおっしゃっていただければと思いますが、いかがでしょうか。――後日でよろしいですかね。そうしたら、読んでということ。

よろしければ、ひとまず議題(2)についてはこれで終わりにしたいと思います。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題(3) 令和5年度ミライカナエル活動サポート事業について

○事務局より、令和5年度ミライカナエル活動サポート事業について、説明が行われた。

(山岡委員長) 今の事務局の説明について、確認しておきたいことはございますか。

最初に私から。6月5日までに採点表を出さなきゃいけないということですが、気になるのは、申請書類がいつ届くか。要するにどれぐらいの期間で採点しなきゃいけないか、みんな気になると思うんですが、教えてください。

(事務局) 今週中の発送を予定しております。紙資料で発送させていただくと同時に、メールでもお送りさせていただきます。

(山岡委員長) ということで、ほぼ1週間。両方の部会の人には十何件あるから、ハードかもしれないですけど、よろしくお願いします。

ほかいかがでしょうか。皆さんから、ご確認、質問。

(関野委員) 申請段階で施設のほうでもご相談を承っております、どちらかという今年度、申請条件といいますか、そこで気になる場所があったので、来年度どうするかというところを含めて共有させていただきます。

まず、募集要項を含めて、労働者協同組合ですとか、非営利型の一般社団法人がないというところがございまして、労働者協同組合に関しては、正直、神奈川県でも数件しかまだ成立していないんですが、非営利型一般社団法人に関しては、特に排除する理由がないとは思いますが、そこは検討されたほうがいいのかなというところでは。

どちらかという協働コースなんですが、今、行政以外ですと学校法人、株式会社で、割と多彩になっていたんです。今回のご相談であったのが商店街さんなんですね。とどこさん等の昨年の助成事業のほうで、協働ではないんですが、連携対象に商店街がありました。

コロナ前になると思うんですが、商店街さんとして申請したら恐らくダメだからということで、商店会長さんが料理店なんですが、そこ単独で協働相手としてやって、結局取り下げになったみたいな案件があるので、協働対象として、商店街も正直、NPO法人さん等がかなり連携しやすい相手なので、何度かこういうことが起きているのかなと思います。

あとは記述されていないところでいくと、農協さんですとか漁協さんですとか、商工会議所なんかもそうですね。そこら辺の事業組合的などころでも、比較的地域と根づいた活動をしているところはある程度の種類がございまして、協働コースの連携対象としては、そこら辺は追加したほうがいいのかと、個人的には相談を受けた限りは感じております。

(山岡委員長) 今後の課題ということになるかと思えます。申請者ではなくて、協働相手

ということですよ。そういうところでは裾野や間口を広げて、審査は提案の内容でするわけで、そこで市民活動としてどうかということを見るわけなので、私としてはいいと思うんですが、今後見直しの中でぜひ検討できればと思います。

この17件というのがちょっとうれしいですよ。それが先ほどの、幾つか告知の仕方とか、範囲が広がったところが要因じゃないかということですが、どういうルートで情報を得たかみたいところはフォローできるといいですよ。本当にそうなのか、ちょっとよくわからないので。

あとはどうでしょうか。——よろしいですかね。

審査選考部会の構成委員については、事務局からご提案いただいたもので、事前に皆さんにもご相談いただいているということですので、こちらでよろしいですか。——では、選考委員の部会はこちらでお願いします。

それから、各部会の部会長を互選により選出ということになっているんですが、これも今決められればと思いますが、いかがでしょうか。何かご提案とか、やりますという方とかあればと思いますが。

もし特にご意見がなければ、昨年度お引き受けいただいた坂井副委員長と細沼委員に、私としてはお願いできればと思うんですが、皆さんいかがでしょうか。——よろしいですかね。

いかがでしょうか、坂井副委員長と細沼委員。それぞれスタート、ステップと協働の部会長をお願いできればと思いますが、ご発言をお願いします。

(坂井副委員長) 皆さんがよろしければ、お引き受けいたします。

(細沼委員) 私も同じく。

(山岡委員長) ありがとうございます。大変助かります。

では、スタート・ステップアップのほうは坂井副委員長、協働コースのほうは細沼委員ということで、部会長をお願いいたします。大変なお役目をお引き受けいただき、感謝いたします。

それから、各部会長が職務代理者を指名ということになっていますので、いかがでしょうか。

最初に、スタート・ステップアップ、坂井副委員長から。

(坂井副委員長) ぜひ山岡委員長にお願いしたいなど。それが一番私としても心強いので、よろしくをお願いします。

(山岡委員長) 承知いたしました。お引き受けさせていただきます。

(細沼委員) 私もやはり、山岡委員長にお願いしたいと思います。安心させてください。

(山岡委員長) 承知いたしました。

皆さん、そういうことでよろしいですか。

今のやりとりの中で審査選考部会の委員が確定して、部会長がそれぞれ確定して、部会長より職務代理者の指名もいただいたということです。

ここで決めることは以上となりますので、特に今の事務局の説明に質問がなければ終わりにしたいと思います。よろしいですか。

今年度から委員になっていただいた方もおられますので、もしご不明な点があれば、もちろんこの場でもいいですし、直接事務局にご確認いただいても構いません。後で、これってどうなんだということもあると思いますので、お問い合わせいただいてもよいかなと思います。

よろしければ、以上で議題（3）を終了といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題（4）その他

(山岡委員長) 最後に、議題（4）「その他」について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) それでは、事務局より、次回、第3回の開催予定についてお伝えいたします。

次回、第3回市民活動推進委員会は、6月7日（水）の午後6時から、ミライカナエル活動サポート事業の全コースの一次審査を予定しております。本日と同様に、Zoomでの開催を予定しております。

本日、皆様にはメールで、6月7日の第3回委員会の開催通知はお送りさせていただきましたので、そちらもあわせてご確認をお願いいたします。資料等につきましては、後日お送りさせていただきますので、お手元に届きましたら、ご確認くださいますようお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

(山岡委員長) 以上で、本日の日程は全て終了しました。これからミライカナエルサポート事業の審査ということで、皆さんにご負担をおかけします。それから、きょうの

ろも、前年度の報告書へのコメントということで、宿題的なこともございますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

以上をもちまして、令和5年度第2回藤沢市市民活動推進委員会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

午後6時59分 閉会